

令和6年度 学校報告会

SHIMOSAKUNOBE

PRIDE

において

今年度の取組

下作延小PRIDEから

SHIMOSAKUNOBE PRIDEへ

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の
理念を基盤とした

地域と一体となった学校の創出



今年度の取組

下作延小PRIDEから SHIMOSAKUNOBE PRIDEへ



みんな ワクワク
地域と一体となった学校へ



学習

地域資源開発
企業・行政の活用
学習ボランティア募集

防災・防犯・交通安全

町会の見守り活動
避難所開設運営委員
見守り活動ボランティア

環境

栽培ボランティア(花壇管理)
清掃ボランティア(体育館・校庭側溝)
修繕ボランティア(ペンキ塗り)

情報

動画配信 動画作成
イラスト作成
来場者管理



今年度の取組

教科担任制(交換授業)・高学年専科教員による指導

【教科担任制（交換授業）】

- ◇担任が学年内の教科を担当しあい、学年児童の理解、学習状況の把握を通してすべての教科指導に生かします。

【高学年専科教員による指導】

- ◇体育、外国語、音楽での専科教員による指導の実施
体育（4～6学年） 外国語（3～6学年） 音楽（3～6学年）
- ◇専門的な指導による学習内容の充実を図ります。

今年度の取組

川崎市制100周年記念行事への参加と地域愛の育成

- ◇ 「SHIMOSAKUNOBE PRIDE」 （自分を大切に思い、他者を認め、学校・地域・川崎を大切に思う子の育成）の具現化のために、市制100周年の記念イベントに取り組みます。
- ◇ 「キャリア在り方生き方教育」の視点の一つである「わたしたちのまち川崎」の取組を充実させながら、市制100周年に向けた教育活動を実施していきます。
- ◇ 市制100周年の取組において、地域と連携した様々な教育活動を行い、「学校 e～ね★ サミット」で全市小学校に発信するとともに、地域への発信も積極的に行っていきます。

今年度の取組

全国都市緑化フェアかわさきへの参加と環境教育の充実

みどりで、つながる。
みんなが、つながる。
みどりとゆめが、つづくまち。
みんなが、最幸 下作延。



Green For All
KAWASAKI
2024

- ◇かわさきフェアの統一主題である『みどりで、つなげる。みんなが、つながる。』に向けて、花や植物を育てる取り組みを全校で進めます。
- ◇子ども達が、花やみどりの楽しさ・大切さを知り、植物を慈しみ大切にする気持ちを育てます。
- ◇子ども達が育てた花などが、地域の方のためになることに喜びがもてるよう取り組みを進めます。

学習指導・教育課程

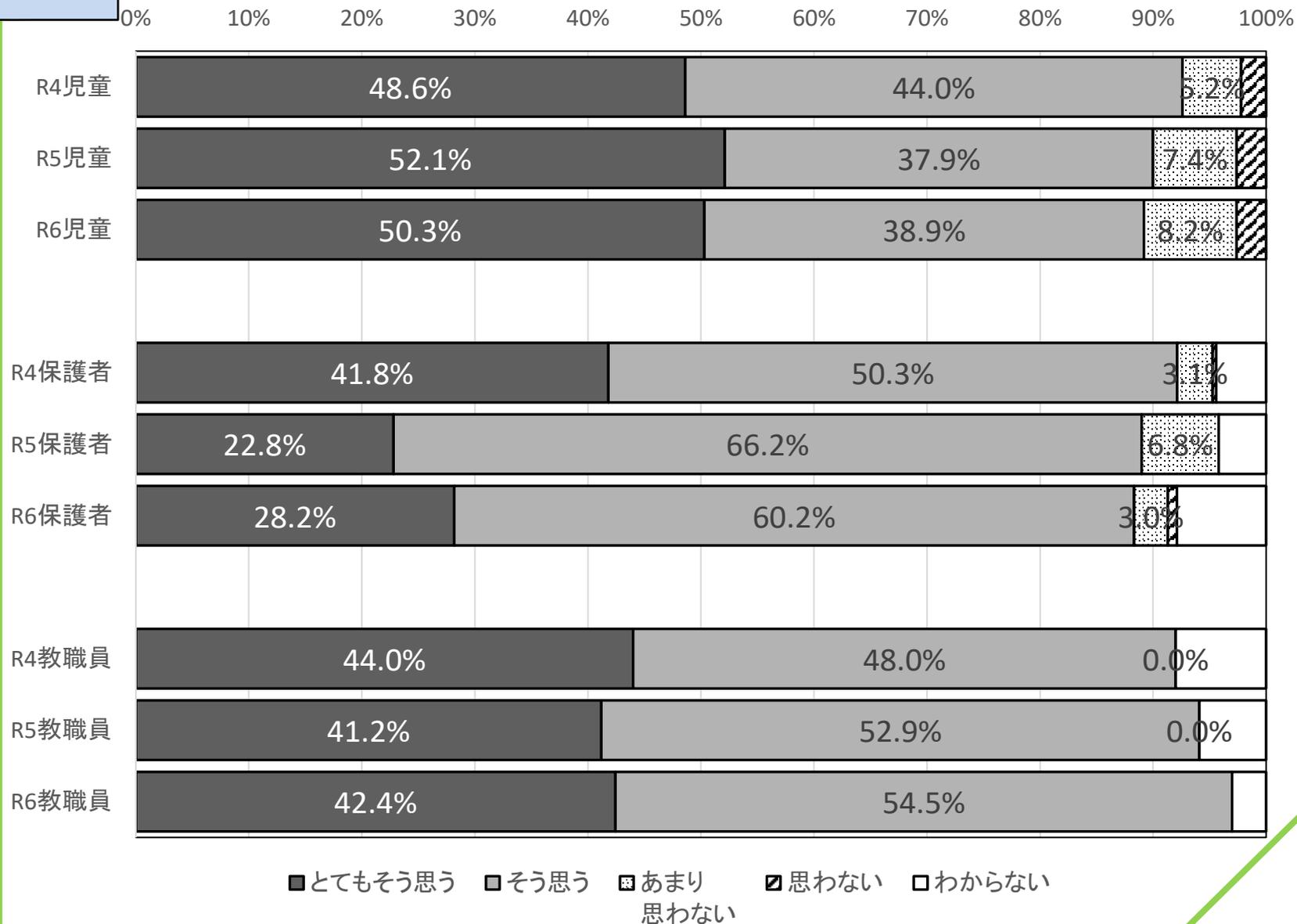
①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成

- ◇全ての教科を通して学びの意欲を高め、「わかる」「できる」「楽しい」を実感じ、共に学び合う児童を育てます。
- ◇既習経験を生かし、意欲をもって学べるよう授業を工夫します。また、互いの考えや思いを交流することを大切にし、友だちのさまざまな考えを知り、そのよさや違いのわけを考えることで、よりよい学び合いが生まれ、成長しあえることをめざします
- ◇朝の短時間学習等を通して、基礎・基本的な問題に繰り返し取り組んだり、60分授業に取り組んだりすることで、知識・理解のさらなる定着につなげます。

◇『何を学ぶか』『どのように学ぶか』を重視して、主体的、対話的で深い学びを視点にした授業改善を意識して進めます。

◇川崎市学習状況調査の結果を分析し、各学年で身に付けたい力を明らかにし、意識して指導にあたります。





成果と改善案

4 質の高い教育を
みんなに



児童の「？」を大切に、この時間は何を考えるのか、そしてどのように解決していくのかを共に考えていくような授業を実践したことにより、児童の学びの姿につなげることができました。また、川崎市学習状況調査の結果を分析し、活かしていくような授業に各学年が取り組みました。昨年と比較し、「とてもそう思う」と回答された保護者は、5.4ポイント増加しました。

今後も日々、授業改善を行うとともに、学習アンケートを活用しながら、「学びの意欲」「ともに学び合う」「基礎基本」の3つを大切に「基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成」に努めていきます。



学習指導・教育課程

②個に合わせた支援の充実

- ◇少人数指導（全学年35人以下学級編成）、学校サポーターによる支援や学習センターを活用した指導や支援等を行います。
- ◇教科担任制による指導内容の充実を図ります。（3年生以上では、授業交換をして指導力の向上を図ります。）

◇少人数指導のよさを生かし、これまでもより計画性をもって子供の「わかる」「できる」姿が見られるように支援を充実させていきます。

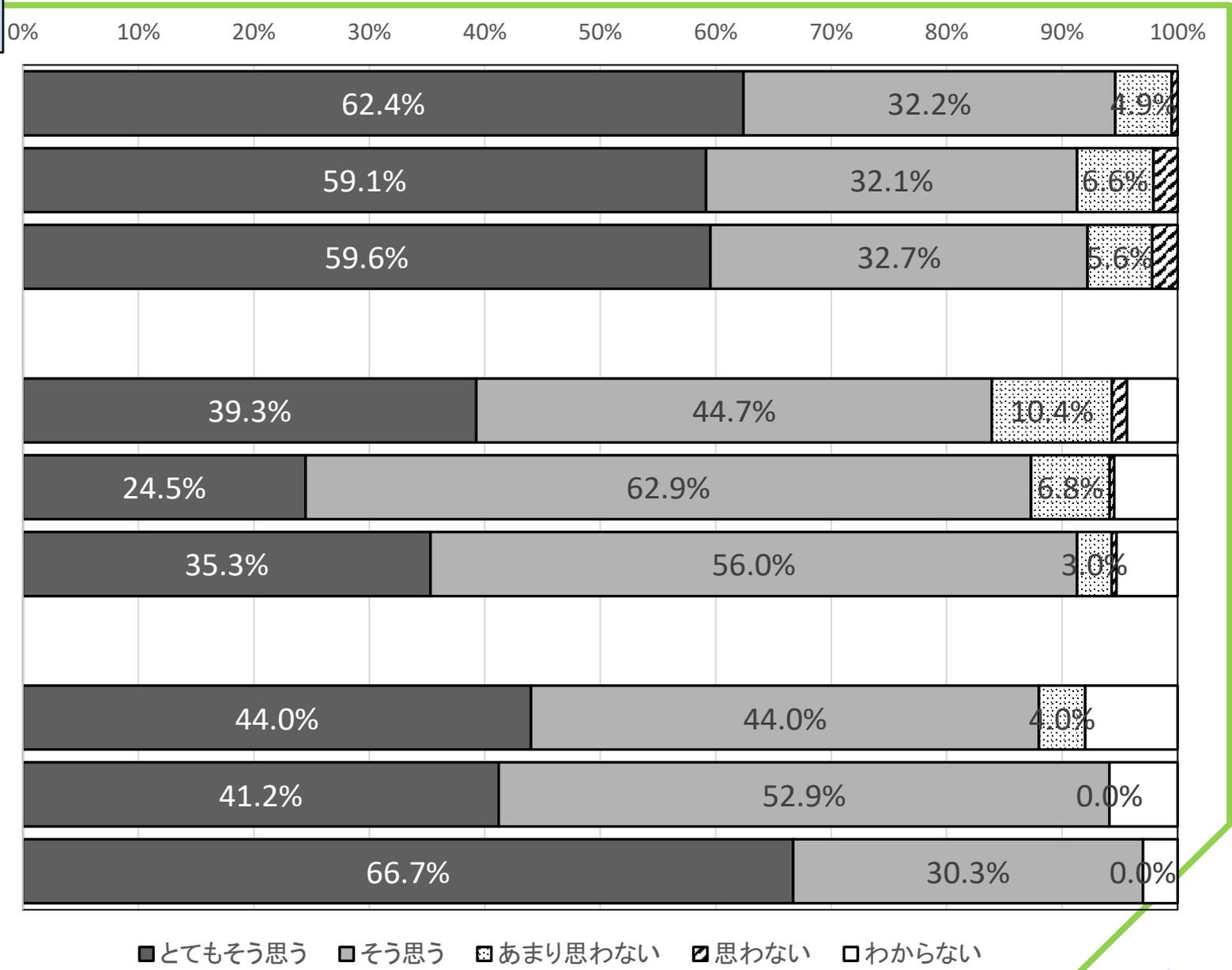
◇指導人数の体制にとらわれるのではなく、それぞれの学級内で有効な支援方法を考え、日常につまづくことが少なくなるような指導を進め、職員同士、よりよい指導方法を積極的に共有します。

◇担当する教科の教材研究をさらに充実させて、児童にとってよりよい授業をめざしていきます。

◇学びの個性化・個別化を意識した学習活動を進めます。

4 質の高い教育を
みんなに





成果と改善案

4 質の高い教育を
みんなに



今年度も、少人数指導（全学年35人以下学級編成）、学校サポーターによる支援や学習センターを活用した指導や支援等を行いました。また、3～6年生で音楽・外国語（3・4年生は外国語活動）、4～6年生で体育の専科指導を実施したり、学年内で教科の交換授業を実施したりして、教科担任制による指導内容の充実を図りました。児童の回答を見ると「とてもそう思う」「そう思う」92.3%、保護者回答が91.3%で、肯定的な回答をいただいています。

来年度も教師が担当する教科を決めて指導するよさを活かし、教科担任制による指導内容の充実、児童の思いに合わせた学び方、少人数指導のよさを生かした「わかる」「できる」学習に取り組んでいきます。



学習指導・教育課程

③防災・防犯教育の充実

- ◇避難訓練・防犯訓練の想定ややり方を工夫したり、自分の身を守るための指導を行ったりします。
- ◇保護者と共に学び、地域とつながる防災教育を工夫し実践します。
- ◇有事の際を想定し、西高津中学校と連携した訓練を実施する。

◇地震・火災の他、洪水や台風等の避難も視野に、朝会の活用やカリキュラムを再考し、より充実した防災・防犯教育に取り組んでいきます。

◇防災教育を通して、備える大切さを保護者とともに考え、地域に発信し、有事の際児童の安全確保はもとより、避難所となる学校施設を有効に活用できるよう、地域住民の避難所利用の理解を進めます。

◇保護者・地域・西高津中学校等との合同訓練の計画などを盛り込んだプログラムを作成し、指導に組み込んでいきます。

3 すべての人に
健康と福祉を

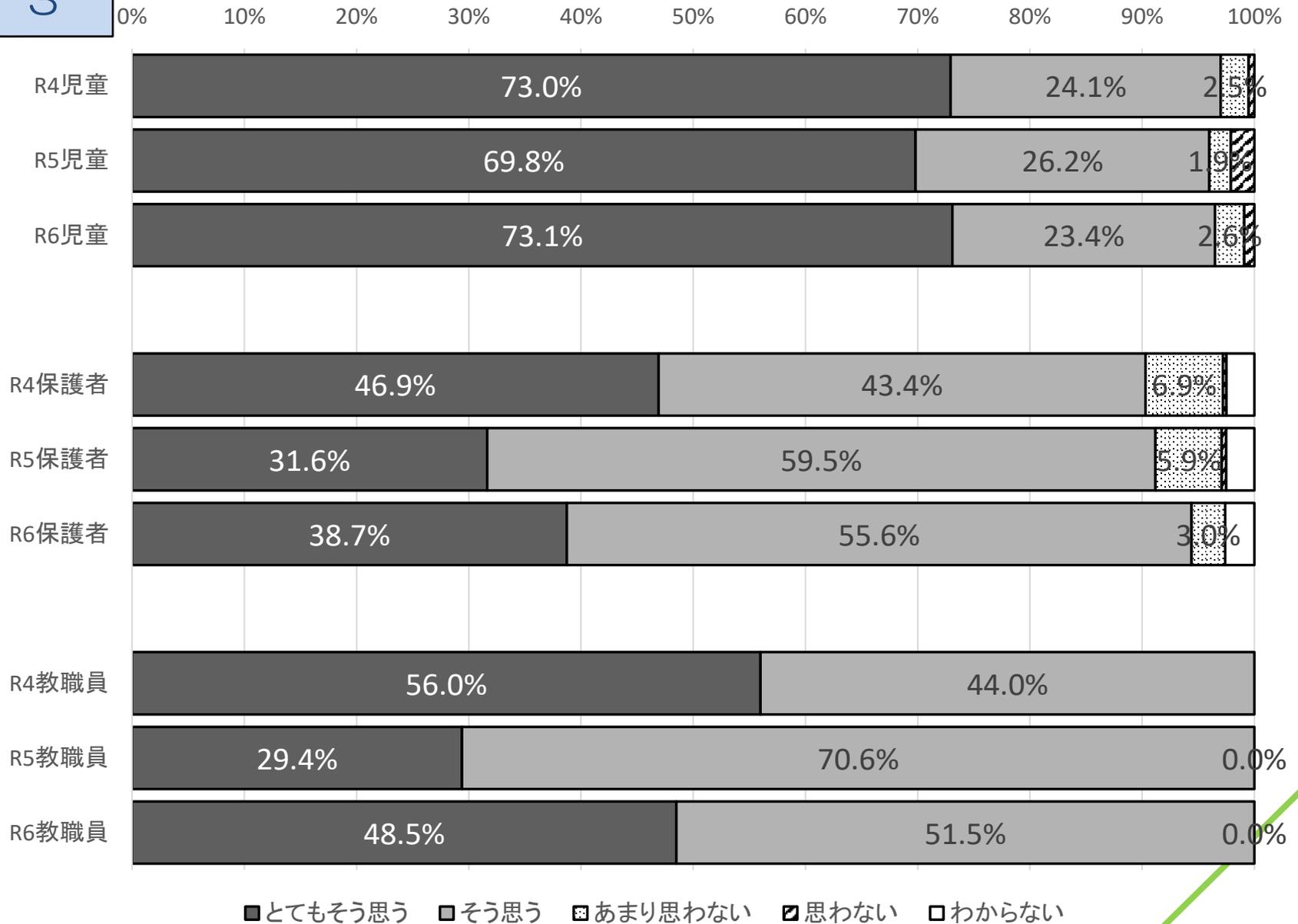


11 住み続けられる
まちづくりを



13 気候変動に
具体的な対策を





成果と改善案



防犯教育については、カリキュラムに組み入れ訓練を実施することができ、防犯防災の意識を高めることができました。また、西高津中学校区4校合同引き渡し訓練を実施し、より実践的な訓練を行いました。さらに、避難所開設訓練に4年生児童が参加し、総合的な学習の時間において取り組んだ防災に関する学習の成果を地域の方々に発表しました。防災の大切さについて発信し、地域住民の避難所開設への参加意識を高めることにつなげました。また高津警察署の協力を得て、不審者対応に関する職員研修を実施し、教職員の防犯意識の向上に努めています。今後も、保護者・地域・西高津中学校区内他校との連携を深めた避難訓練の実施、防災に関する情報の周知などを行いながら、実践的なプログラムを指導に組み、防災・防犯教育の充実に努めていきます。

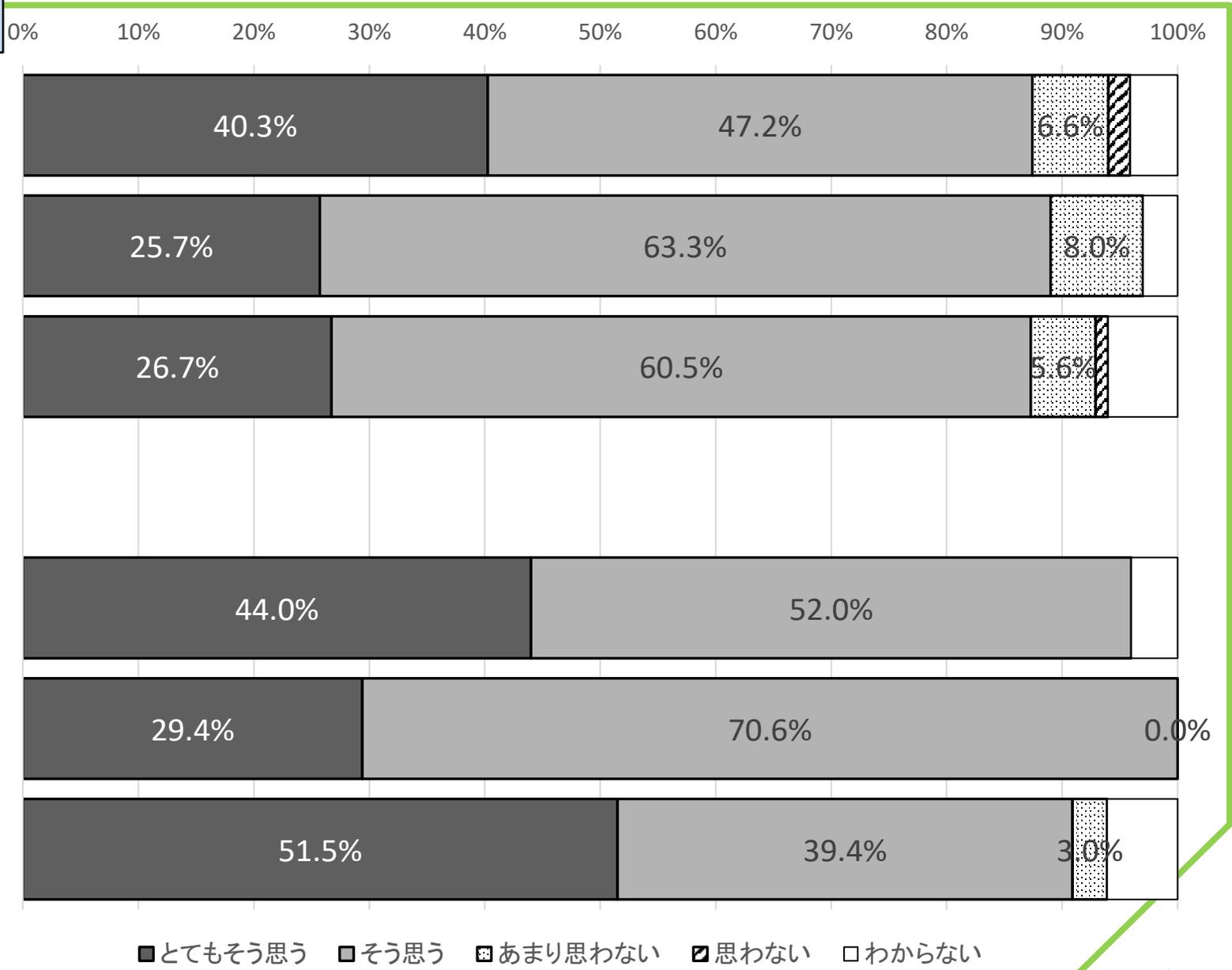


学習指導・教育課程

④情報教育の充実

- ◇一人ひとりが一台のGIGA端末を利用しながら、機器の操作方法を系統的に指導し、学習において適切に活用できる力と態度を育成します。
- ◇発達の段階に合わせて系統的に情報モラル教育を進め「適切なコミュニケーション」の力を育てます。
- ◇教職員がGIGA端末を学習において適切に活用できるよう、研修を行い、児童にとって学習中GIGA端末を適切に授業に生かし、活用できる力と態度を育成するようにします。
- ◇情報モラル教育を全学年において行い、外部講師などを招いての指導を行うとともに家庭と連携をしていく。また、配信システムなどを活用することを通して、情報モラルの向上に向けての資料・情報を保護者向けに配信していきます。
- ◇児童の情報モラルを高めるために、引き続き情報モラル教育について、保護者と共に学ぶ機会・時間を増やしていきます。





成果と改善案

4 質の高い教育を
みんなに



今年度も「情報モラル教育」「適切なGIGA端末の活用」を軸に取り組みを進めました。情報モラル教育では、ノートン社や高津警察署から外部講師を招き、指導を行いました。また、学級毎の情報モラル授業や長期休業中の情報モラルに関する動画視聴を保護者と一緒に行いました。情報教育の充実に向けた適切なGIGA端末の活用では、教員間でのGIGA端末の研修を行いました。その結果、日々の学習の中でGIGA端末を活用する学級が増えました。

授業の中で、調べ学習時に教科書や資料集以外にも自分で資料を探したり、映像を見つけたりしながら、自分の疑問を解決していく児童の姿が見られました。来年度もこの取り組みを継続し情報教育の充実を図りながら、児童の学びを深める指導に取り組んでいきます。



学習指導・教育課程

⑤健康教育・運動する子ども

◇日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業や日常的な衛生管理への意識を高めるなど、健康や体力に関心をもつ児童を育てます。

◇年間を通して特別活動におけるカリキュラムを健康教育に関する視点から見直し、衛生指導、歯磨き指導・食育・保健・給食などの教育活動を引き続き充実させていきます。

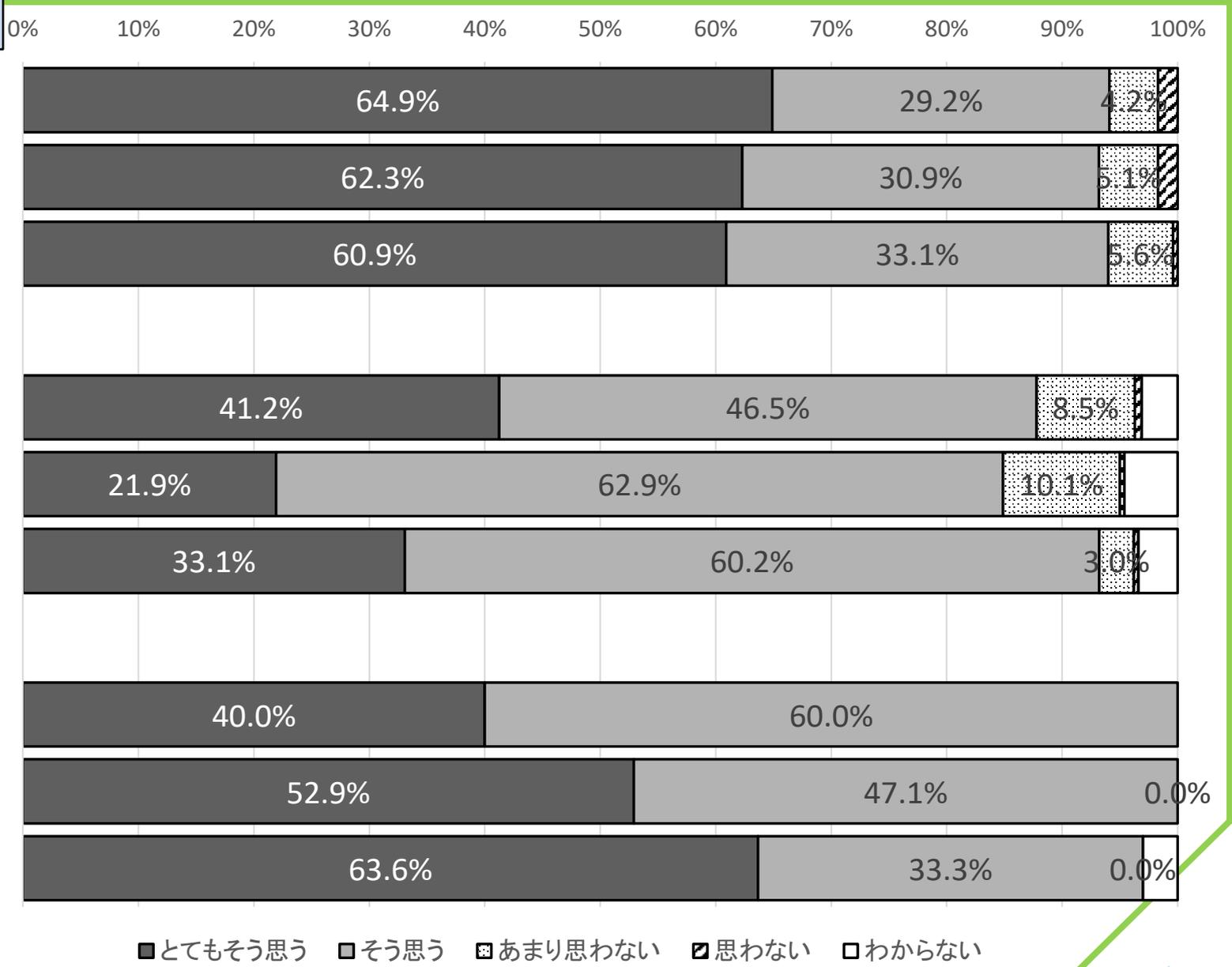
◇運動の楽しさを体験することによって、体力や運動への関心をより高めるようにします。（キラキラタイム・キラキラチャレンジの充実）

◇拡大学校保健委員会などの開催を通して、保護者とともに児童自身が自分の健康について意識し考える機会を設けます。

3 すべての人に
健康と福祉を



下作延小



成果と改善案

3 すべての人に
健康と福祉を



「拡大学校保健委員会」「キラキラタイム・キラキラチャレンジ」などの教育活動、日々の体育授業や養護教諭・学校栄養士による健康に関する授業を通して、日常的な衛生管理への意識を高め、健康や体力に関心をもつ児童の育成に努めました。拡大学校保健委員会では、「運動」をテーマに、外部講師を招いて運動をする効果について学習しました。身体を動かす能力を高めると学習にとっても効果があること、小学生の時期が最も運動神経が伸びる時期であることも学びました。そして積極的に運動や体を動かすことの大切さに気付くことができました。キラキラタイムは、朝の時間を活用した体を動かす時間です。遊びの要素を取り入れながら、誰でも簡単に繰り返し行える運動を行い、体力の向上を図る取組です。本項目の保護者回答結果は、「とてもそう思う」「そう思う」が93.3%と肯定的な評価をいただいています。

来年度も、今年度の取組の継続・充実を図っていきます。また、キラキラタイムで行う運動種目の検討を行い、児童の体力向上に向けての取組を進めていきます。



下作延小

特別活動

⑥主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

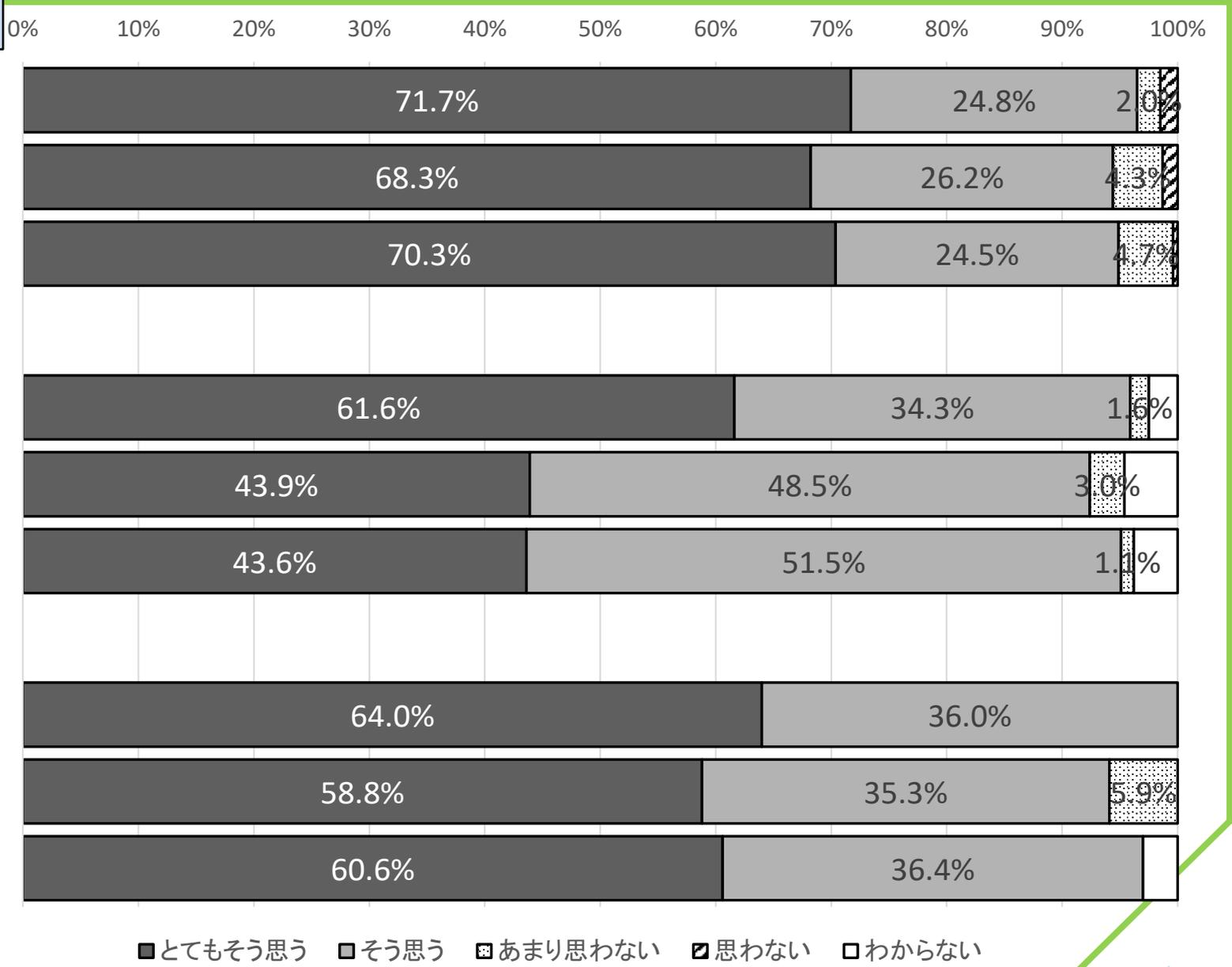
- ◇委員会活動・クラブ活動、係活動その他の活動において、児童の発想や意欲を生かした活動に取り組み、児童自身が「楽しい学校」を創造できるよう指導します。
- ◇運動会やかがやき交流DAYなどを含めて、全ての学校行事において、児童の発想を大切に活動が進められるようにします。
- ◇さまざまな学校行事を通して協働することの大切さ、連帯感・自己有用感・自己達成感を高めていける指導を行います。
- ◇SDGsにかかわる学習活動に意識を向けさせた指導を行っていきます。

◇児童の創造性を大切に、児童の発想を生かし意欲を高めることができるような指導を丁寧に時間をかけて行いながら、学校行事の内容を精査し、児童の自己有用感を高める効果的な実施時期を検討しながら指導を行っていきます。

◇学校内における学習活動について、SDGsの何にかかわっているのか児童が意識できる指導を継続していきます。



6



成果と改善案

8 備きがいも
経済成長も



市制100周年を祝う「お誕生日集会」、水曜日の朝に全校児童が体育館に集合して行う「全校ミーティング」、6年生が企画・運営を行う「運動会」など様々な場面で、主体的に取り組む気持ちや自己有用感、自己達成感を高める取組を進めました。

アンケート結果を見ると、「とてもそう思う」「そう思う」が児童94.8%、保護者92.1%と肯定的な回答をいただきました。子ども達の何事にも主体的に取り組む気持ちや自己有用感を高める取組は、下作延小学校の教育活動の中でも特に大切にしているものです。

今後も引き続き取り組みを強化していきます。



下作延小

保護者・地域との連携

⑦地域に愛着をもてるような教育活動

- ◇学校教育目標に即し、目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感できる教育活動を取り入れ、指導を行います。
- ◇積極的に地域の教育資源を開発し、地域の人材・地元企業と連携した教材開発・授業開発を進めます。
- ◇生活科・総合的な学習の時間・社会科の学習、学校行事等で地域の「人・もの・こと」との出会いやふれあいを通して地域を愛する気持ち、感謝の気持ちを育てます。

- ◇日頃から「SHIMOSAKUNOBE PRIDE」「かわさきPRIDE」を意識した学習活動に取り組んでいきます。
- ◇これまでの成果を生かし、低・中・高学年ごとや学校全体での地域のかかわりを計画していけるカリキュラムを作成し、実践していきます。
- ◇コミュニティ・スクールのサポート部門の協力を得ながら、地域・保護者の方のさらなる学校サポート体制の充実をめざします。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



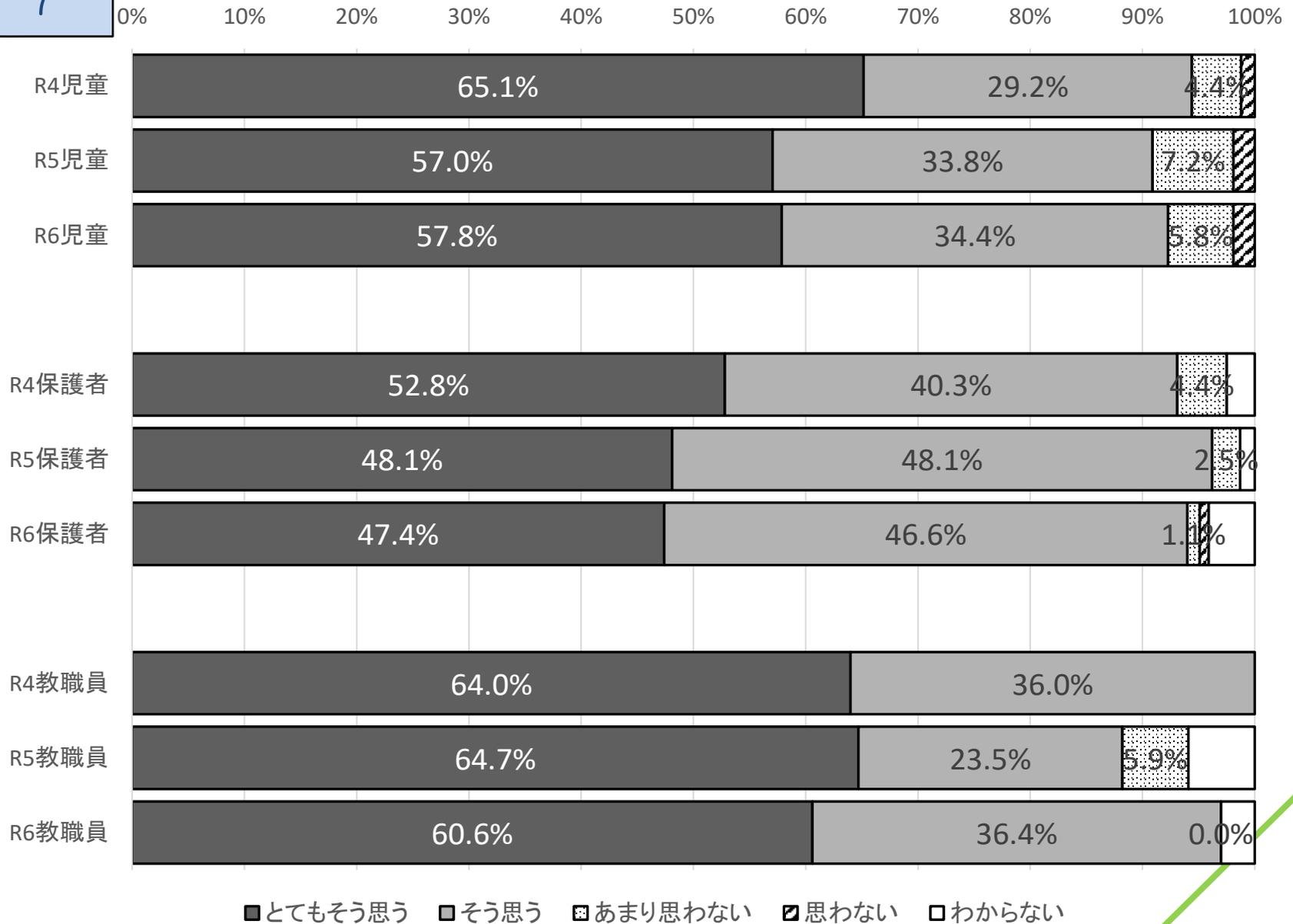
13 気候変動に
具体的な対策を



14 海の豊かさを
守ろう



7



成果と改善案



今年度も「SHIMOSAKUNOBE PRIDE」「かわさきPRIDE」を意識しながら、学校教育目標に即し、目的をもって地域に出かけ、地域のよさを実感できる教育活動を取り入れるとともに、積極的に地域の教育資源を開発し、地域人材・地元企業と連携した教材開発・授業開発を進めました。この教育活動は、貴重な体験を通して、自ら学び、自ら考える力を育て、地域の方との交流を通して、自分自身も地域の一員であることを理解していくことをねらいにしています。地域や専門家の方々に学ぶ「かがやき交流DAY」ではワークショップを通して、身近な素敵な大人との出会い、好きなこと得意なことをもつことのすばらしさを感じとり、また新しいことに挑戦し、その活動をふりかえることで、自分への気づきにもつながっていくことができました。感謝の気持ちや異学年と一緒に学ぶ意義、下作延の地域への思いなど「キャリア在り方生き方教育」そのものの貴重な時間となりました。また1年生では昔遊び、2年生では町探検、3年生では夢パーク、4年生では防災に関する学習、5年生では環境に関する学習、6年生では歴史学習に取り組みました。それぞれの学年で、外部講師や地域の方の協力を得ながら学習に取り組みました。その結果、自ら学びを考える力、下作延という地域への愛着を育むことができました。外部講師や指導をお願いできる人材の減少などの課題はありますが、来年度も引き続き、地域や関連企業との連携を大切にした教育活動に取り組んでいきます。



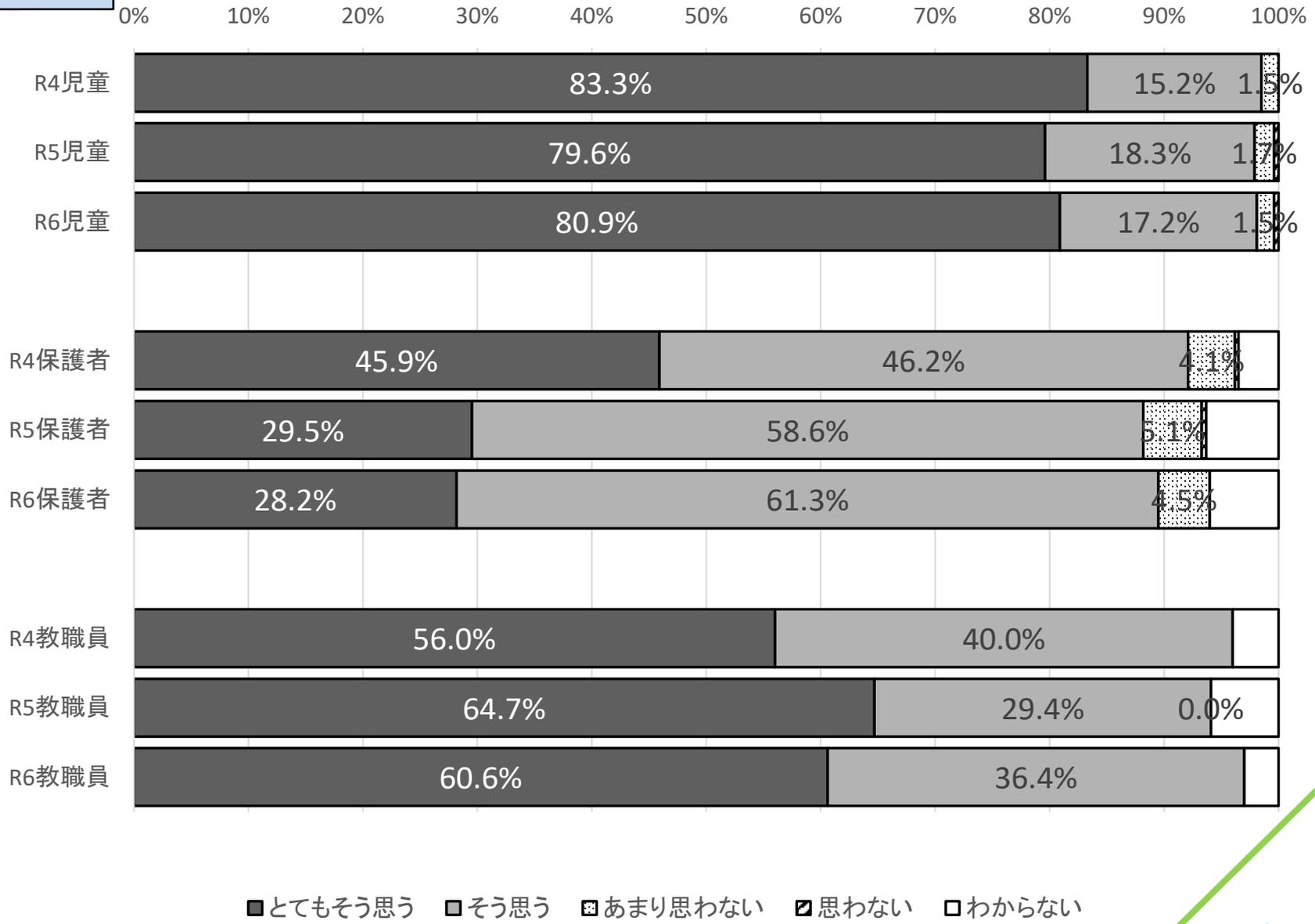
児童支援

⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ
◇年間の教育活動。(人権週間の場や、子どもの権利学習、SOSの出し方・受け止め方教育実施、学校行事における教育活動)を通して、児童自身が自分も相手も大切にできるように努めていきます。

◇美しいもの、素晴らしいものにであったり、感動したり、生き生きと生活する大人に触れたりして、心が豊かになる時間を過ごすことができる機会を計画的につくります。

◇人にやさしくしたり、役に立ったりした時に自分の心も豊かになることを実感できる教育活動の充実を図ります。





成果と改善案

4 質の高い教育を
みんなに



5 ジェンダー平等を
実現しよう



今年度も「生まれてきてよかった」と思えるよう美しいもの、素晴らしいものに出会ったり、感動したり、生き生きと生活する大人に触れ合う活動を行ってきました。3年生は川崎フロンターレ、5年生は川崎ブレイブサンダース、6年生は富士通フロンティアーズの方を招いたスポーツ教室を開催したり、芸術鑑賞教室、運動会などを開催したりしました。また、自分も相手も大切にできるように命の重さや価値を実感できるようにと、4年生で福祉体験、6年生は助産師さんを外部講師として招き、生命の尊さについて学ぶ機会を設けました。さらに、自他共に大切であることを学ぶ「SOS出し方・受け止め方教育」を全学年に実施しました。さらに、6月の土曜参観時に保護者の方にも共に考えていただく時間を設けました。児童の回答も80.9%の児童が「とてもそう思う」と回答しています。今後も引き続き取組を強化していきます。

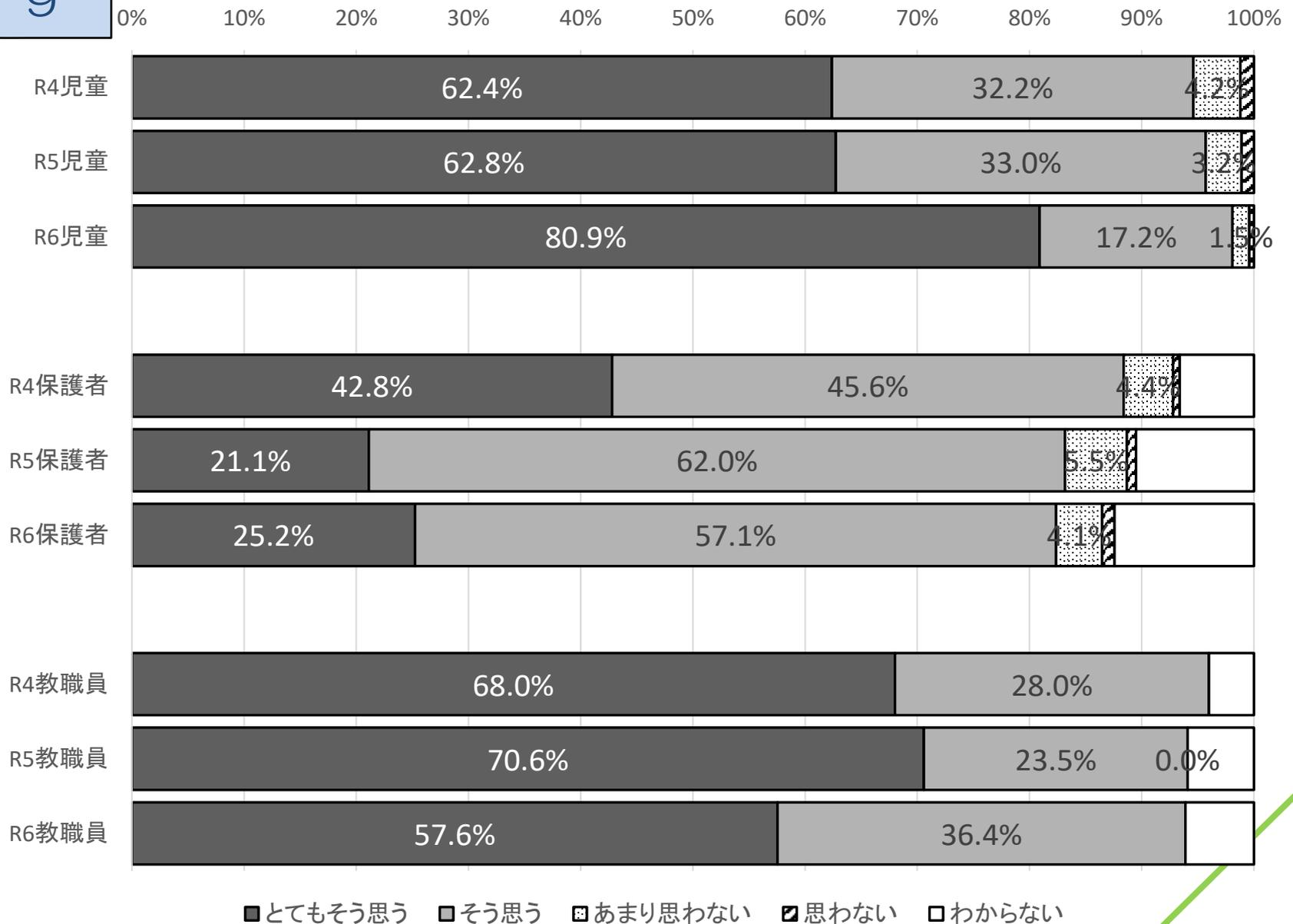


下作延小

児童支援

- ⑨共生・共育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土
 - ◇各学年6時間の「共生＊共育プログラム」を行い、社会性のスキルの習得に努めます。
 - ◇「学校生活アンケート」を実施し、一人ひとりの思いをくみとることで、いじめの防止に努めます。
 - ◇教職員はいじめ防止委員会を計画的に開催し、教職員で課題を共有しながら、いじめ防止・問題解決に努めます。
 - ◇支援教育コーディネーターを中心に、児童の心に寄り添ったチーム支援を行います。
-
- ◇運営委員会による呼びかけだけでなく、児童自身がよりよい学級や学年、学校を創ろうという意欲を持続できるようにしていく。
 - ◇教職員も継続して取り組み、子供とともに居心地のよい学校、学年づくりを推進していきます。
 - ◇いじめ防止について、研修や会議等で教職員で共通の認識をもつ機会を設け、児童の情報を共有することを継続していきます。
 - ◇支援教育コーディネーターを中心に、学校巡回カウンセラーをはじめ広い視野での連携を図ることで保護者の不安にも寄り添えるようにしていきます。





成果と改善案



コミュニケーション力の育成・いじめを許さない学校風土の創造をねらい取り組みを進めてきました。まず、職員の共通理解を図るため、「いじめ防止基本方針」「いじめの定義」の確認、事例に基づくいじめ対応など職員研修を実施しました。

5月には朝会で全校児童に対して「いじめは絶対してはいけない」ことをしっかり教える活動を行いました。また、年間3回学校生活アンケートを実施し、子ども全員との教育相談（担任と一対一での対話）を行い、実態を確認し、いじめの未然防止、対応を行ってきました。11月の全校ミーティングでは「自分もみんなも気持ちよくすごすためには」を議題に話し合い、各学級でできること、自分たちにできることを考える場を設けました。さらに、各学年6時間の「共生＊共育プログラム」を行い、社会性のスキルの習得に努めました。

アンケートでは、「とてもそう思う」「そう思う」と98.1%の児童が回答する結果となりました。これらの取り組みを継続し、引き続き「いじめに対する意識」を高めていきます。また、コミュニケーション力の育成にも力を入れていきたいと思えます。

児童支援

⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

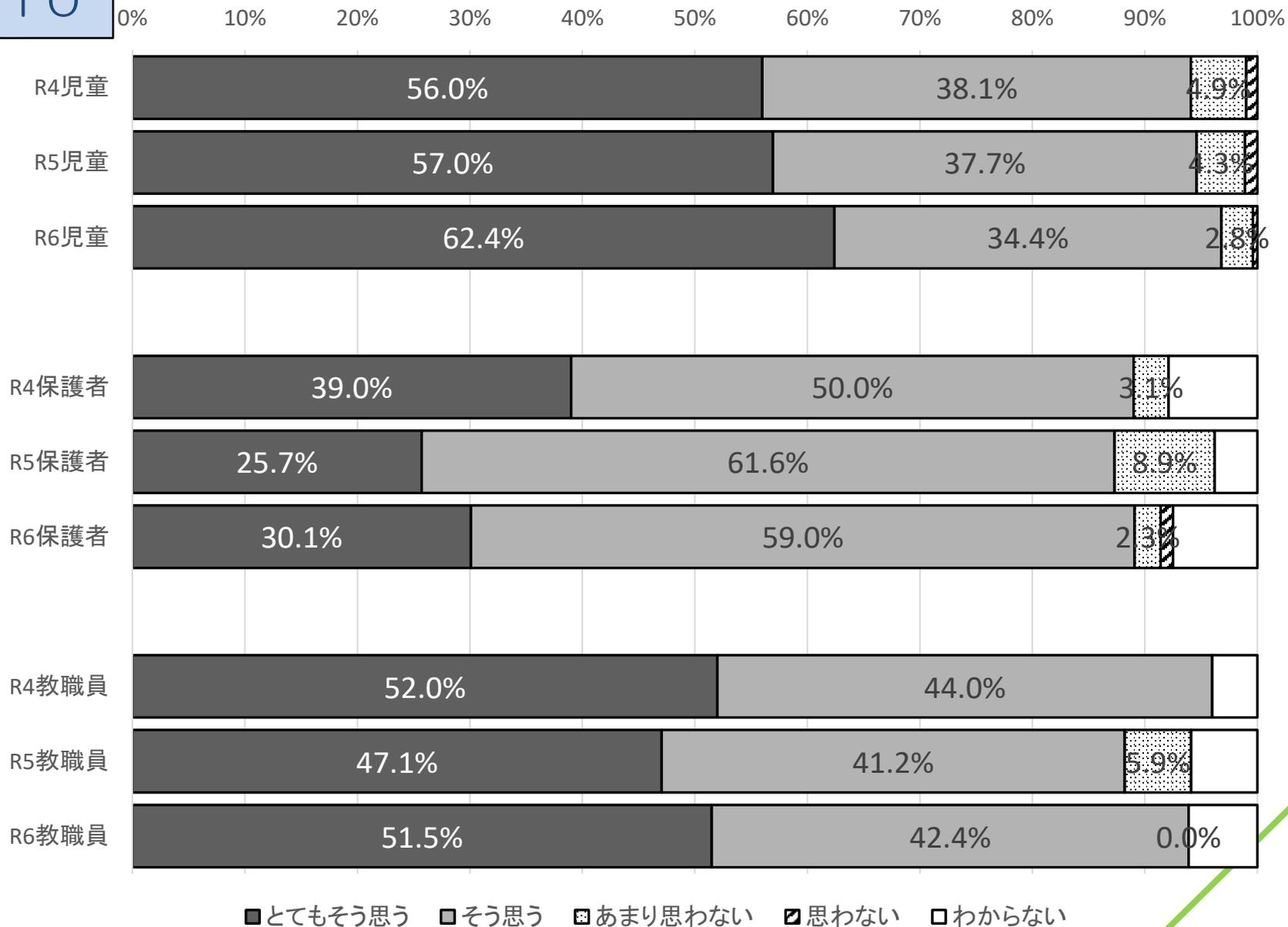
- ◇掲示物や全校ミーティングなどで、児童自身が気持ちよく過ごすことができる学校生活のルール作りについて考える機会を設けます。
- ◇クラスでの生活目標や個人での「生活ふり返りカード」を通して、規範意識の育成に努めます。

◇児童達自身が、互いに気持ちよく過ごすためのルール作りや意識づくりに引き続き参画できるようにします。

◇他者に対する感謝の気持ち、ルールを守って生活することの大切さを継続して指導していきます。

◇落ち着いて生活を送るために、自分を制する気持ち、我慢をする経験等についてはさらなる成長が必要と感じているため、社会生活に必要なスキルを育んでいく指導を進めます。





成果と改善案



学校生活をよりよく過ごすために「生活目標」を1～2ヶ月ごとに設定しています。そして生活目標を達成するための具体目標を学級ごとに話し合い決めていきます。具体目標は「生活のめあて」として図書室前に全学級分掲示して互いの取組を共有しています。個人では「生活の振り返りカード」をもとに振り返りを行っています。さらに全校ミーティングや代表委員会を通じて、子ども達自身が学校のルールづくりをする場を設定しています。ルールを守ったり、自分たちの課題を主体的に改善したりしようとする意識が高まっています。アンケート結果を見ると96.8%の児童がルールを守って生活をする事ができたと回答しています。今後も必要に応じて、保護者とも情報共有し、よりよい行動ができるよう引き続き指導に努めていきます。



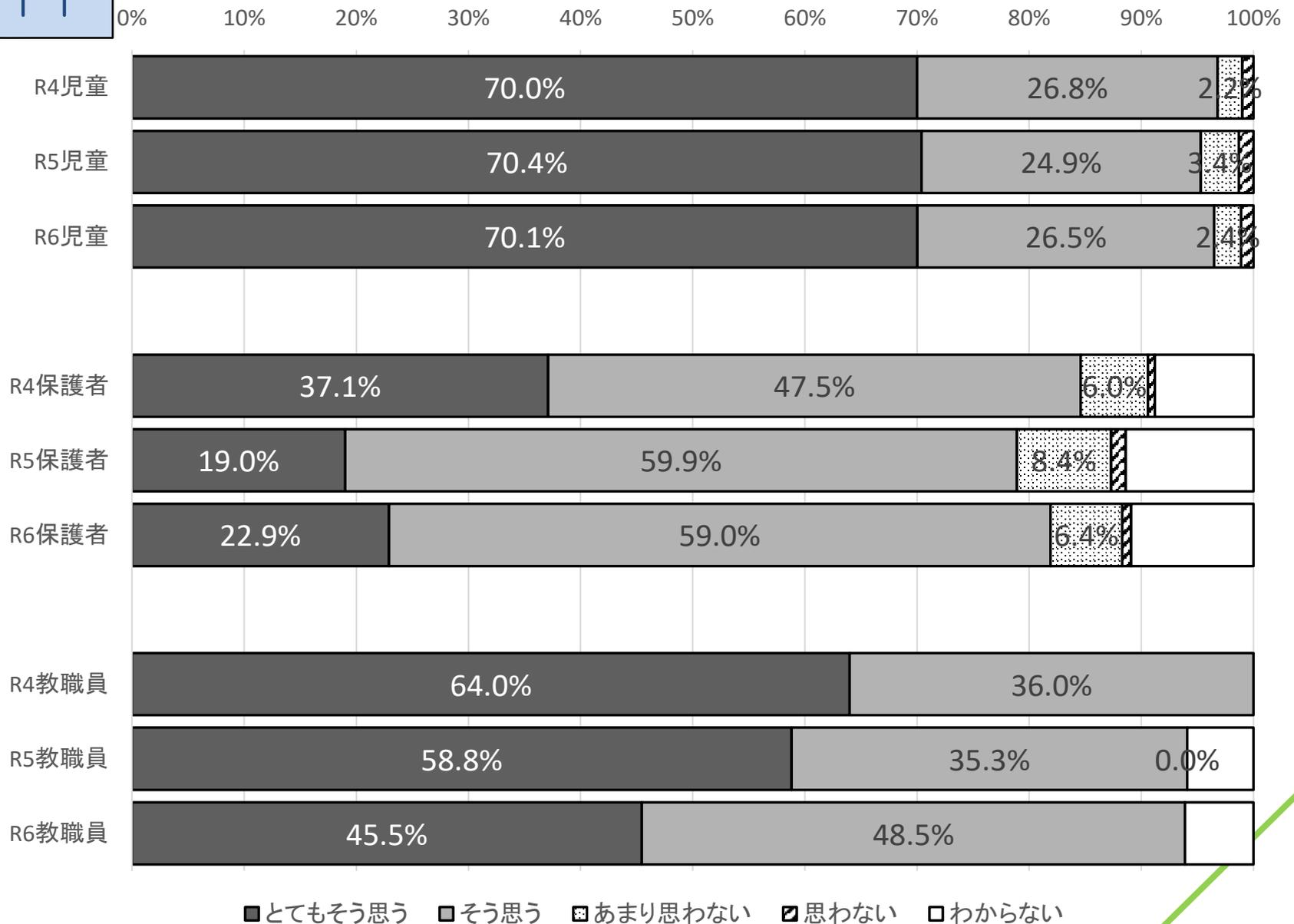
安全安心な環境

⑪危機管理・施設の整備

- ◇心肺蘇生法・AEDやアレルギー、熱中症防止等の研修、学校安全マニュアルを活用します。
- ◇地域の安全見守り、避難所運営会議、PTAと連携し児童の安全確保を図ります。
- ◇交通安全教育、薬物乱用防止教育等を実践し、安全に対する意識向上をめざします。
- ◇教育委員会、地域、保護者と協働し、学校施設設備環境の改善に努めます。

◇川崎市より示された防災対策指針に沿った、学校安全マニュアルの更新に取り組みます。





成果と改善案



心肺蘇生法、AEDやアレルギーなどの職員研修を実施し、児童ひとり一人を守る学校安全マニュアルを作成し、教職員の危機管理意識の向上に努めました。また、子ども達の安全確保を意識した学校施設の改善に努めるとともに、児童の作品や学習に活かせる掲示物の掲示の工夫などを行い、よりよい学習環境・生活環境の創造に努めました。さらに、日々、安全見守りに携わる地域の方、避難所運営会議、PTAと連携し子ども達の安全確保を図りました。高津警察署の協力を得て、外部講師として招き、交通安全教育、薬物乱用防止教育等を実施し、児童の安全に対する意識向上を図りました。正門の交換、駅門インターフォンの設置など、教育委員会、地域、保護者と協働し、学校施設や設備環境の改善に努めました。

来年度も引き続き児童の安全確保、危機管理意識の向上を図りながら、あわせて学習環境としての学校施設・設備の改善に努力していきます。また、水泳学習の期間にお願いしているプールの監視ボランティアの保護者の方にもAEDの操作講習会を開催できればと考えています。



保護者・地域との連携

⑫学校評価を生かした教育の改善・情報発信

- ◇学校・学年だよりにおいて教育方針や児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたり、随時ホームページを更新したりします。
- ◇保護者向けの手紙、調査結果等メールによる配付をします。紙文書の削減のために、ミマモルメやホームページによる文書配付を進めます。
- ◇学校運営協議会（コミュニティ・スクール）でのご意見や保護者アンケートを学校改善に役立てていきます。

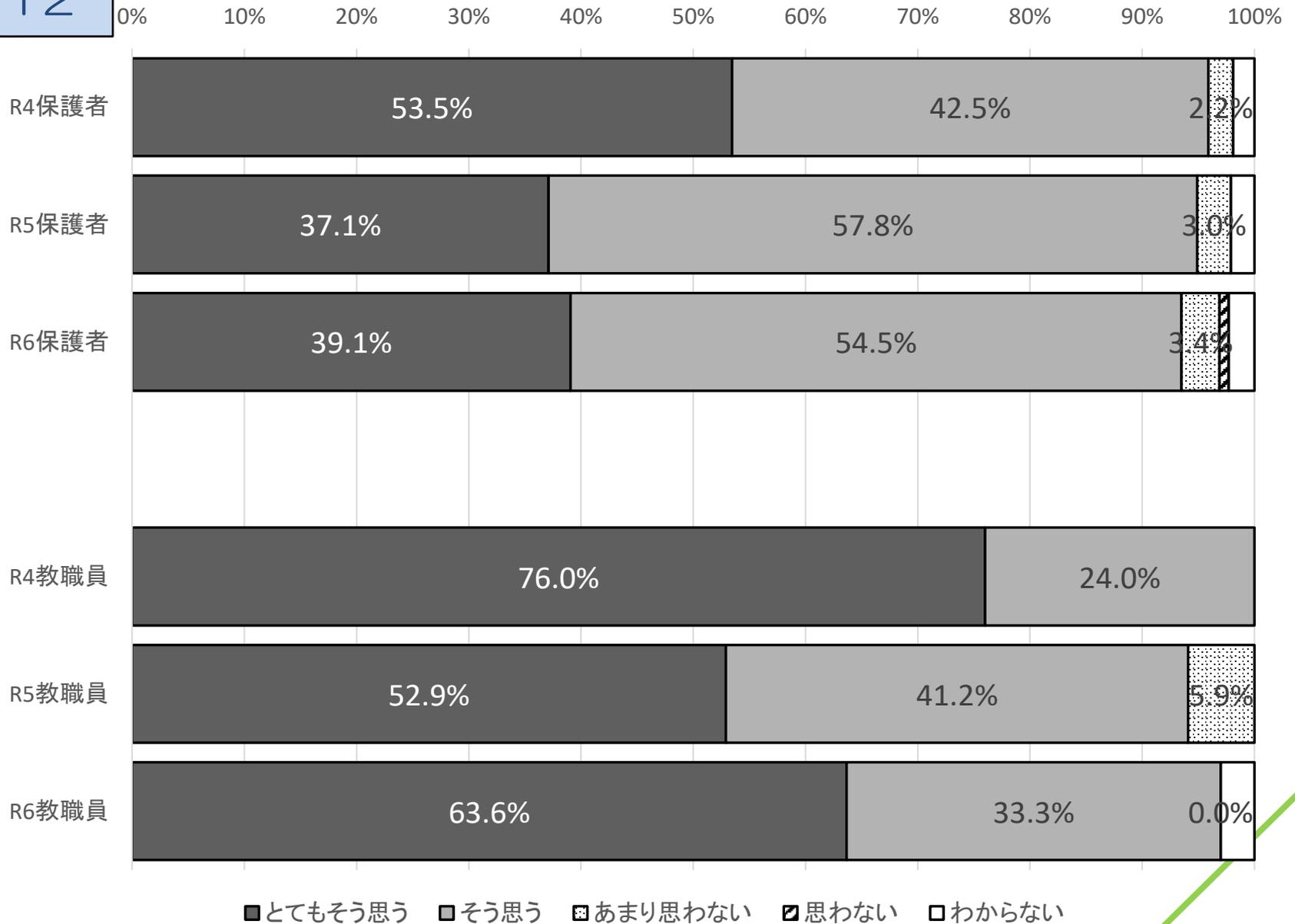
- ◇児童の学習活動の様子にあわせて、学校として、その教育活動にどんな思い願い、ねらいがあるのかを保護者に丁寧に伝えていくことをこれまで以上に進めていきます。
- ◇学校評価では、中間報告を取り入れ、PDCAの4つのサイクルを通り、らせん状の評価を行い、改善すべき点は即時改善が図れるようにします。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナースhipで
目標を達成しよう





成果と改善案

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



学校・学年だよりにおいて教育方針や児童の様子を保護者・地域の方々にお知らせしたり、随時ホームページを更新したりしました。児童の学習活動の様子にあわせて、学校として、その教育活動にどんな思い願い、ねらいがあるのかを保護者に丁寧に伝えていくことをこれまで以上に進めていきます。行事ごとに保護者アンケートをとり、教職員と共有することにより、改善すべきことは即時改善していくことができ、また学校運営協議会委員の皆様に来校していただき児童の様子を参観していただいた上で、ご意見をいただけたこともよかったです。

今後は、学校ホームページの構成をわかりやすいよう整えていくとともに、児童の学習活動の様子に合わせて、その教育活動にどんな思い願い、ねらいがあるのかを保護者に丁寧に伝えていくことをこれまで以上に進めていきます。

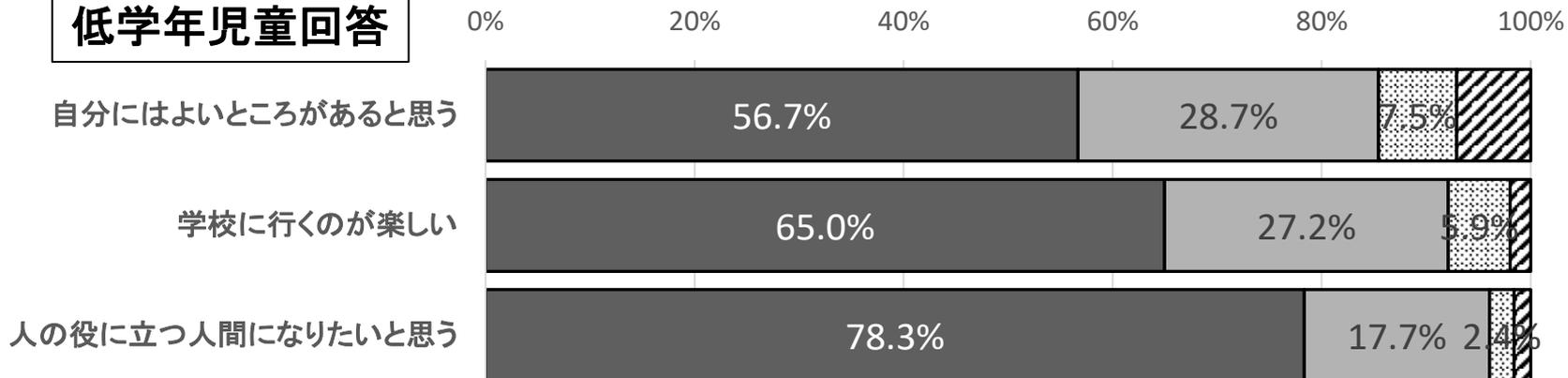
また、学校運営協議会における4部会「学習」「防災・防犯・交通安全」「環境」「情報」のさらなる充実に努めるとともに、地域の教育資源の開発を進め、交流を深めていきます。



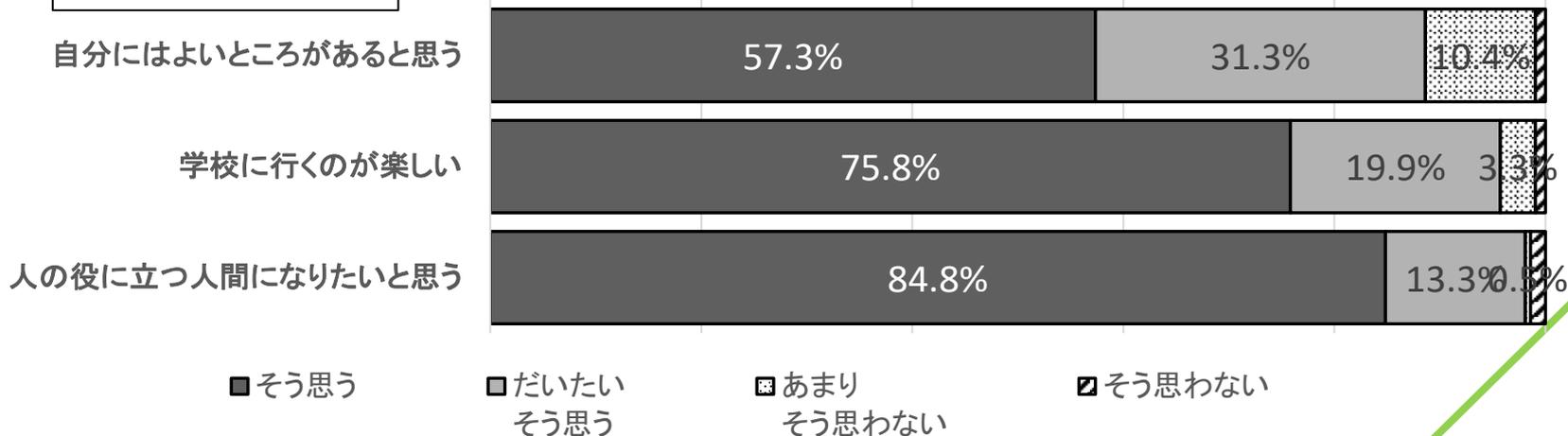
下作延小

SHIMOSAKUNOBE PRIDE にかかわるアンケート結果

低学年児童回答



高学年児童回答



■ そう思う

■ だいたい
そう思う

■ あまり
そう思わない

■ そう思わない